



# 岩五だより



江戸川区立小岩第五中学校  
令和8年度 学校だより  
～ 4月号 ～  
令和8年 4月14日発行

## 「令和8年度、始動します」 校長 前本 大智

4月に入り、小岩五中関係者の皆様方や地域の皆様方の温かいご支援とご理解のもと、新年度をスタートさせることができました。入学式では雨模様を式中何とか回避し、教職員、在校生一同で56名の新入生をお迎えすることができました。心配された桜の花もきれいに残り、新しい生活をお祝いしているように感じました。

新学期が始まり一週間あまりですが、生徒の学校での様子とともに、そこで私が始業式で話したこと等を再度お伝えします。生徒の皆さんは、読み返して振り返る時間をもっていただきたいと思います。新入生の皆さんにとっては、皆さんの入学式の1日前のお話となります。

### ・4月7日（月）始業式

新2年生、新3年生になった在校生141名は、春休みを終え無事に新学期を迎えることができました。落ち着いた様子で、凛とした空気感漂うなか、勝手なおしゃべりをすることもなく上級生らしく行動し始業式を終えることができました。また、入学式準備では、さすが新3年生、新2年生という手際の良さと素早い行動で入学式会場を整えてくれました。上級生らしくTPOをわきまえて行動できる集団になり始めてきたと感じました。



良い集団になり始めているからこそ始業式で私は、今年度を始めるにあたり、次のことを強調しました。

**小岩五中生には、「挑戦する」ということを意識して学校生活に取り組んでほしいです。**

今から100年以上前に活躍したアイルランド出身の有名な脚本家、作家であるジョージ・バーナード・ショーさんは、数々の名言を残しています。その中のひとつに、次のようなものがあります。

「成功の反対は、失敗ではない。挑戦しないことだ。」と言っています。

つつい我々は、成功の反対は、言葉としては失敗だと思いがちですが、人間を見つめ深く掘り下げていく大脚本家である彼は、挑戦のないところに成功はおぼつかないという考え方を教えてくれています。全ての挑戦が成功につながるわけではありませんが、何事も挑戦することから始まります。

皆さんの日常にも、挑戦がたくさんあります。

- 朝、起きて身支度をして、登校してくること
- 苦手な教科の授業を黙って聞くこと
- 新しいクラスで、今まで話したことのない同級生に話しかけてみる
- 日々の生活で優先順位をつけていかなければいけないことに先に取り組むこと

などなど。こうした何気ない日常に、実は挑戦が必要となります。その挑戦をした人から、未来は変わっていきます。一步前に踏み出す人にだけ、見える景色があるはずです。

皆さんには、まだ自分では気づいていない力がたくさんあります。

その力は、挑戦したときに、初めて目を覚まします。だから、この一年を「自分の可能性を広げる一年」にしてほしいと思います。そのとき、忘れないでほしいことがあります。皆さんが勇気を出して挑戦しようとするとき、小岩五中の教職員は必ず味方です。つまずいたら一緒に立ち上がり、悩んだら一緒に考えます。皆さんの挑戦を必ず支えます。春の風に背中を押してもらいながら、自分の一步を信じて挑戦してください。皆さんの今年度が、挑戦あるものになりますように、一緒に走っていきましょう。

最後になりましたが、今年度も保護者の皆様、下小岩地区の皆様、鹿骨地区の皆様の本校に対するご理解・ご協力によって学校教育活動を進められますことに感謝申し上げます。予定されております各地域行事等に生徒とともに参加させていただきながら、学校同様に様々な経験を本校生徒が積み重ねていける良い機会となりますようご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

配布したのものには、ココに学校組織図が載っています。

